

各位

2017年5月29日

株式会社アプリックス

(コード番号:3727 東証マザーズ)

## IoT セキュリティスキャナー「Gumwheel™(ガムホイール)」を 「AWS Summit Tokyo 2017」に出展

株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役:長橋賢吾、以下「アプリックス」)は、ネットワークに接続された IoT(Internet of Things)機器をまとめてスキャンし、セキュリティリスクがある機器を検出するソフトウェア「Gumwheel™(ガムホイール)」を、「AWS Summit Tokyo 2017」に出展し、デモを行うことのお知らせします。

「Gumwheel」は、自社 IoT ソリューションのセキュリティ対策で経験を積んできたアプリックスが、増え続ける IoT 機器のセキュリティ問題を解決すべく開発したソフトウェアです。対象の IoT 機器や導入場所を選ばず、簡単に使うことができる手軽さが特長です。

「AWS Summit Tokyo 2017」は、5月30日(火)～6月2日(金)に東京・品川で開催されます。

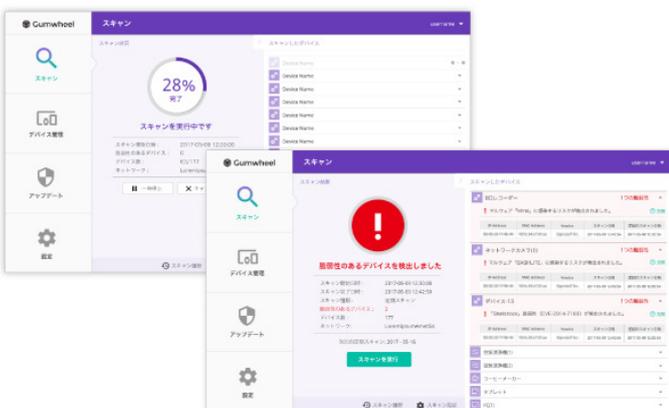
「AWS Summit Tokyo 2017」は、クラウドコンピューティングサービス「Amazon Web Services(AWS)」に関する世界最大規模のクラウドカンファレンスです。詳細は公式サイト(<http://www.awssummit.tokyo/?id=aplix>)をご覧ください。

### 「Gumwheel」について

「Gumwheel」は Go 言語で開発されたソフトウェアです。Windows や Linux が動作する PC などにインストールして使用します。

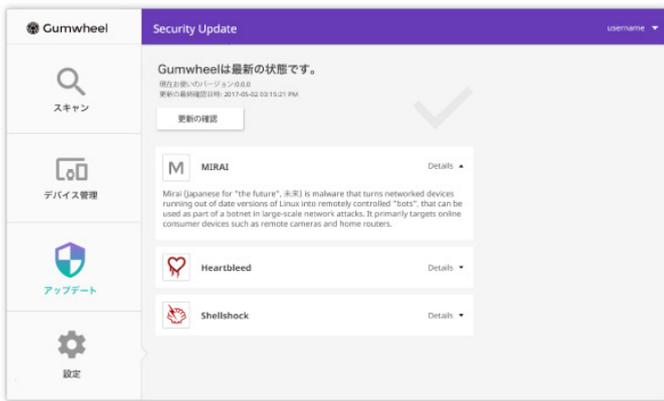
使い方は簡単です。まず「Gumwheel」をインストールした PC をネットワークに接続します。管理画面からスキャンを実行すると、同じネットワークに接続されている IoT 機器をチェックし、問題のある機器をリストアップします。問題の詳細もわかるので、ユーザーは問題のある機器をネットワークから取り外し、ファームウェアの更新、パスワードの変更などの適切な対応を行うことができます。

スキャン対象の IoT 機器の種類、OS、CPU、RAMなどは問わず、特別な準備も不要です。また「Gumwheel」が IoT 機器に書き込みを行ったり、IoT 機器やネットワークの速度低下などを引き起こしたりすることはありません。通常どおり IoT 機器を使用しながら、安全にスキャンを行っていただくことができます。

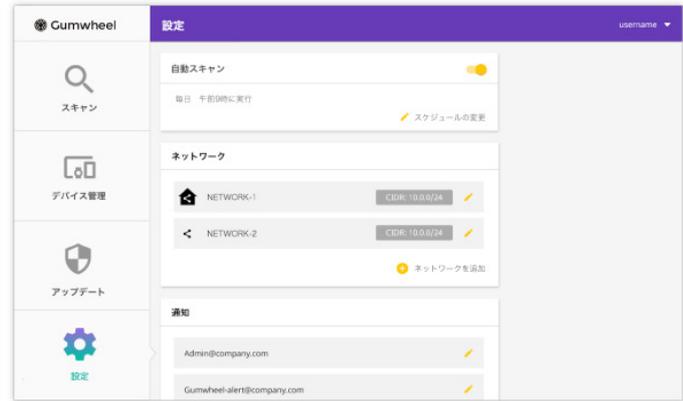


スキャン中の「Gumwheel」画面と  
セキュリティリスクのある機器が検出されたときの画面

デバイス管理画面



定義ファイルのアップデート画面



設定画面

(注)画面は開発中のものです。

以上

## ■株式会社アプリックスについて

アプリックスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoT(Internet of Things)です。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスのwebsite(投資家情報等):<http://www.aplix.co.jp/>

アプリックスのテクノロジー事業:<http://business.aplix.co.jp/>

## ■お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<http://www.aplix.co.jp/inquiry/>

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。